



砂防ボランティア通信

特定非営利活動法人大阪府砂防ボランティア協会

理事長あいさつ

29年度通常総会を開催

この1年の活動概要報告

危険斜面地等の点検調査

地域調整委員会活動

研修会・講習会

河川室だより(大阪府)

☆ 理事長あいさつ

大江 徹

会員の皆様には、土砂災害の防止のための調査、啓発など当協会の活動にご協力いただき厚くお礼申し上げます。また平成29年度総会につきましても会員各位のご理解、ご協力で議案についてご承認いただき、重ねてお礼申し上げます。

本協会の中心的な事業であった大阪府からの「急傾斜地崩壊危険箇所カルテ更新」の受託業務がいくつかの要因からH24年度から実施されなくなって5年が経過しました。このため受託業務として多くの会員が参画し実施してきた急傾斜地崩壊危険箇所における「現地調査」「資料作成」「啓発活動」がなくなり、協会事業が縮小するとともに会員の活動機会が大きく減りました。平成24年度からは繰越金取り崩しの状況が続き、平成27年度決算では一層の経費縮減と会員の温かい厚意による寄付金収入によって黒字になりましたが、平成28年度決算においては再び繰越金を取り崩す事態になりました。今後の協会運営については、なお一層の経費縮減に努めるとともに協会事業に賛同をいただける企業への賛助会員入会を募るとともに寄付金を企業などからお願いするなど新たな財源確保に努めつつ、平成29年度には地域住民の防災意識の啓発と会員の技術研鑽と向上を図ることを目的とした「斜面地調査」を新たに試行実施していきます。この調査は大阪府の土砂災害対策の基本理念「府内での土砂災害による犠牲者ゼロの継続」(人命を守ることを最優先)にも通じるものであると考えております。

また昨年9月に大阪府において土砂災害警戒区域等の区域指定が完了したことから、府下各地域で「地区単位の土砂災害ハザードマップ作成」など住民参加型の防災・減災への取組みが進められています。このような状況から、大阪府砂防ボランティア協会としても、地域と連携して地域の防災・減災が図れるよう会員の幅広い活動を展開できるよう引き続き努力していきます。

☆ 平成29年度通常総会を開催

6月2日(金)、大阪府立労働センター「エル・おおさか南館」において通常総会を開催し、平成28年度事業報告・決算報告を承認、平成29年度事業計画・予算を審議し承認されました。

大阪府砂防ボランティア協会は頻発する土砂災害から大阪府民の生命・財産を守るため、土砂災害防止に係わる活動を行い、安全な地域づくりに寄与することを目的として、行政機関で土砂災害対策に携わった大阪府職員OBを中心に平成8年9月、設立20年が経過しましたので、平成23年に発刊した15年誌【土砂災害から命を守ろう】をベースにして新たに20周年記念誌(CD版)を作成しました。総会に参加された会員にはお渡ししました。今後企業賛助会員を含めすべての会員に20周年記念を配布することにしております。また、当協会の厳しい財政運営にあって平成27、28年度において寄付金をいただいた三宅清様(協会設立時2代目会長)ほか10名の会員に大江理事長から感謝状が授与されました。



平成29年度総会の模様(エル・おおさか)

総会終了後には平成29年度第1回会員研修会を開催し、一般財団法人全国治水砂防協会理事長岡本正男氏から「砂防の話題」と題して、「NHKドラマ山女日記」「砂防法120年」「急傾斜地50年」「流木対策」などについて興味深い講演をしていただきました。

☆ この1年の活動概要報告

危険斜面地等の点検調査・防災啓発活動

土砂災害から府民の命を守るため、大阪府や市町村と連携して土砂災害防止のための点検調査や防災意識の向上・啓発に努めました。

昨年度の活動内容は、土砂災害危険箇所の「パトロール」・「緊急点検」等(7回、16名)を実施するほか、啓発活動の一環として、府下各地区で進められている土砂災害警戒区域等において住民と一緒に「地区単位のハザードマップの作成」のワークショップに参加協力(2市1町4地区6回、11名)、地すべりの動態観測地である八尾市黒谷「市民の森」の除草活動に参加(2回、5名)するとともに、土砂災害出前講座(1地区、3名)を行いました。

会員の活動は16回、延べ参加人員35名となり、会員の積極的なボランティア活動は府民からも好意的に受け止められており、これからの地域防災力の向上が図れるようさらに寄与するよう努めていきます。



土砂災害危険箇所パトロール
(岸和田土木管内 泉佐野市上之郷地区)



ハザードマップ作成ワークショップ(出前講座)
(泉南市八幡山区)



ハザードマップ作成ワークショップ(街歩き)
(岬町平野自治区)

また、大阪府が進めている土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の平成28年9月区域指定完了に向けた関連業務について、各土木事務所の非常勤職員採用案内に応募し、平成27年1月から平成29年3月まで当協会会員10名が土木事務所に勤務し、基礎調査や区域指定関係の事務補助に従事しました。

研修会・講習会

1. 現地研修会—奈良県五條市大塔町—

- ・平成28年11月11日 現地研修会

昨年の兵庫県丹波市に引き続き今回も奈良県砂防ボランティア協会と協力して現地研修会を開催しました。平成23年の台風12号による豪雨により大規模な斜面崩壊、土石流災害や河道閉塞(天然ダム)が発生し大きな被害が発生した奈良県十津川流域五條市大塔町清水(宇井)地区で近畿地方整備局紀伊山地砂防事務所が施工する砂防堰堤、床固工などの対策工事、柳谷・鍛冶屋谷地区では奈良県が施工する砂防工事を視察しました。4年前(平成28年11月)の現地研修会でも同じ五條市大塔町の災害現場を視察しています。今回は会員22名、大阪府からは8名、計30名が参加しました。

清水(宇井)地区、赤谷地区では、平成25年9月台風18号、平成26年8月台風11号、平成27年7月台風11号の豪雨によって斜面再崩落が繰り返し発生し、仮排水路の埋塞、工事用道路の流失、砂防堰堤の破損などへの対応や工事災害防止のため無人化施工、計測機器の配置、早く・安い・効果的な「ソイルセメント」の採用などの必要な対策を講じて工事を進めているとのことでした。また柳谷・鍛冶屋谷地区では、堰堤工、法砕工が完成するなど進捗が図られていました。

また今回の現地研修会では、奈良県砂防ボランティア協会の研修会に講師として同行されておられた京都府立大学名誉教授松村和樹氏から各災害現場で発災の原因、対策工の選択などについて興味深い話を聞くことができました。松村先生は発災直後から現地に入られて調査するほか、近畿地整局紀伊山地砂防事務所が主催する河道閉塞等対策検討委員会にも参加されておられました。



平成28年度現地研修会 奈良県五條市大塔町赤谷地区の大規模斜面崩壊を背景に参加者

2. 砂防講習会

(1) 平成27年11月27日 大阪府河川協会及び大阪府砂防協会との3者共催による講習会（場所：大阪赤十字会館）

「最近の土砂災害について」

全国治水砂防協会 理事長 岡本 正男 氏

「近年の洪水被害と治水対策について」

国土交通省近畿地方整備局 河川調整官 宇根 寛 氏

(2) 平成29年2月10日 近畿2府4県の砂防ボランティア協会共催の講習会（場所：滋賀県庁新館7階大会議室）

「近年の土砂災害と斜面安定性評価のためのモニタリングシステムの提案」

立命館大学防災フロンティア
研究センター

センター長 深川 良一 氏

「期待される砂防ボランティア」

砂防ボランティア全国連絡協
議会 会長 亀江 幸二 氏

「滋賀県の土砂災害防止に係るソフト対策の状況」

滋賀県土木交通部砂防課
技師 北林 紘文 氏

(3) 平成29年6月2日 通常総会后、
会員研修会を開催

・「砂防の話題」

講師 一般財団法人全国水砂防協会 理事長 岡本 正男 氏



平成29年度総会に引き続き開催した会員研修会
講師は、全国治水砂防協会理事長 岡本正男氏

